

10月23日（水） 2024年度Ⅰ部Ⅱ部入替戦第2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大観大	0	0	2	0	0	0	2	0	0	4
阪公大	0	0	0	0	0	0	5	0	X	5

大阪観光大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	二	京極	2	上宮	4	3	0	
2	遊	田中	3	立正大学淞南	2	0	1	
3	右	重栖	3	立正大学淞南	4	0	0	
4	三	福島	2	立正大学淞南	3	1	0	
5	一	中島陸	3	綾羽	3	0	0	
6	指	米田	3	京都翔英	2	0	0	
	走指	西山	4	奈良朱雀	1	0	0	
7	中	吉野	2	日本航空	4	1	0	
8	捕	宗根	3	汎愛	1	0	0	
	打	近藤	3	綾羽	1	0	0	
9	左	立山	3	京都翔英	2	1	2	
	打	榎本	1	神戸国際大学附属	1	0	0	
投		河上	3	大塚	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	6	2	1	4	28	6	3

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	4	1	3	
2	遊	疋田	3	広島新庄	2	1	0	
3	右	前田	2	須磨学園	4	0	0	
4	指	中村	4	市立西京	4	0	0	
5	左	林	1	大阪明星	3	0	0	
6	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	2	1	0	
7	一	大西	3	長田	4	1	0	
8	二	樋口	3	刈谷	3	1	0	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	2	1	1	
投		吉岡	2	大阪明星	-	-	-	
		古谷	4	県立高島	-	-	-	
		中野	4	兵庫	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	7	0	2	0	28	6	4

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
河上	8	140	35	28	6	4	7	5	4
合計	8	140	35	28	6	4	7	5	4

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	6 2/3	110	29	21	6	1	6	4	4
古谷	0 1/3	4	1	1	0	0	0	0	0
中野	2	30	6	6	0	4	0	0	0
合計	9	144	36	28	6	5	6	4	4

【戦評】

1部復帰へ一歩リードした状態で迎えた、本日の一戦。昨日の勝利から気持ちを入れ直し、今日復帰を決めるんだ、と全員の思いを一つにし試合に挑みました。

本日の先発は吉岡（法2・大阪明星）。緩急をつけた投球により相手打線を打ち取り、1回を三者凡退に抑えます。

2回表には、安打、犠打により得点圏にランナーを許すも、遊撃手疋田（工3・広島新庄）の好守により併殺し、無失点とします。

しかし3回表、吉岡は一死から2者連続で四球を与えると、続く打者には安打を許し一死満塁とします。その後ゴロからの一塁走者封殺の間に三塁走者に生還を許すと、続く二死一二塁の場面で重盗を決められ、この回計2点を失います。

すぐさま反撃したい阪公大打線はその裏、樋口（工3・刈谷）が中安打により出塁するも、併殺に倒れます。

4、5回裏にもそれぞれ疋田、石守（経3・札幌開成中等教育）が四球を選ぶも、後が続きません。

4回以降もマウンドを任された吉岡は、4回表を三者凡退に打ち取ると、5回表も捕手小田竜（工3・県立伊丹）の華麗な盗塁刺により3人で抑えます。

6回表には安打、犠打などにより三塁まで進まれてしまうも、得点は与えません。

1点ずつでも返していきたい阪公大打線は6回裏、先頭の疋田が中前安打で出塁すると、その後疋田の四球より、この日チームで初めて二塁までランナーを進めます。このチャンスを得点に繋げたいところでしたが、最後はまたしても併殺され、無得点に終わります。

一方守備では7回表、四球、安打、2つの盗塁により無死二三塁のピンチを背負います。何とか凌ぎたい場面で3人目の打者からは空振り三振を奪うも、4人目の打者に適時打を放たれ2点を奪われます。その後一死一塁から、安打の間に三塁を目指す一塁走者を三塁でタッチアウトとするも、続く打者に死球を与え、吉岡はここでマウンドを降ります。二死一二塁、これ以上は点差を広げたくない場面でマウンドを任されたのは、ピッチャーリーダーの古谷（経4・県立高島）。落ち着いた投球により相手打者を4球で仕留め、更なる追加点は与えません。

何がなんでもチャンスを作りたいと気持ちで迎えた7回裏。林（工1・大阪明星）、石守が2者連続で四球を選ぶと、その後二死から樋口、小田竜も連続四球を与えられ、押し出しで1点を返します。なおも続く二死満塁のチャンスで打席に立つのは根来（経2・府立生野）。全員が固唾を飲んで見守る中、捉えた初球はセンターを越える三塁打となり、石守、樋口、小田竜が生還し、同点に追いつきます。その後相手の暴投の間に根来も生還。一気に逆転に成功します。

リードを守り切りたい8回表、この回からマウンドを任されたのは頼れる4回生の中野（商4・兵庫）。圧巻の投球を見せ、この回三者連続空振りに抑えます。

流れを渡したく無い8回裏。二死から石守、大西（法3・長田）が安打で出塁し、無得点ながらも果敢な攻めの姿勢を見せます。

1点をリードしたまま迎えた9回表。緊迫した場面でも中野は落ち着いた投球を見せ、1人目、2人目の打者からフライアウトに打ち取ると、3人目からは空振り三振を奪い試合終了。5-4で勝利いたしました。